

2023年4月5日

国内初の最先端放射線治療装置を導入 4/5 から治療を開始しました

栃木県立がんセンター放射線治療科

栃木県立がんセンター放射線治療科は、2023年3月末に国内初の最先端放射線治療装置を導入しました。

導入されるのは、放射線治療装置の製造やシステム開発を手掛けるスウェーデンのエクタ社製「エクタ・ハーモニー」。放射線治療では、CT装置の50~100倍程度の強い放射線を使用するため、安全性は最重要項目です。この装置は人が起こすミス（ヒューマンエラー）を防止する技術として「自動化」に特化している安全性の高い装置です。国内初の最先端放射線治療装置です。



従来の装置とどう違う？

「観る」「視る」「診る」で安全・安心な放射線治療を実現します。

自動認証機能で「観る」

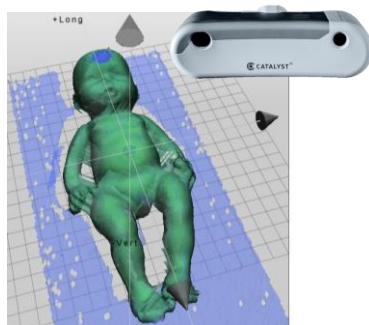
入室時に入口に取り付けられたカメラから治療装置が自動で顔を認識し、オーダーメイドの治療計画ビームが装置にセットされます。治療時に使用する枕や固定具も自動で認識されます。治療装置の自動認証は、国内初で、安全な治療を実現します。



自動認証システム: cAutoVeify

体表面カメラで「視る」

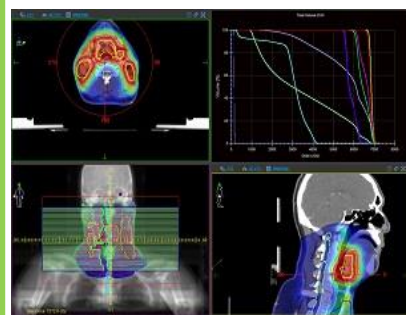
治療中は、体の表面をセンサーで常にスキャンすることで、体が動いたときは自動でビームが停止するため安心です。体の位置も自動で認識するため、従来の治療位置を示す長い印がありません(マーカーレス治療)。



体表面センサーカメラ: Catalyst

腫瘍位置を「診る」

最新装置では、AI技術を導入することで、従来数日かかる治療計画を最短15分程度で作成可能です。その日のCT画像から体内の状態に合わせた治療計画を作成することで、腫瘍を狙い撃ちすることができます。



放射線治療計画装置: Monaco

<お問い合わせ>

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13 地方独立行政法人栃木県立がんセンター
広報広聴センター 安部 TEL028-658-5151(代表) 【ホームページ】<https://www.tochigi-cc.jp>

